永畑智大「見開きのスカルプチャー」

Tomohiro Nagahata - The Open Spread Sculpture -

2025.05.23.Fri - 06.21.Sat

営業時間：11:00-18:00［火・土］日・月・祝休館

LOKO GALLERY | 展覧会ページ

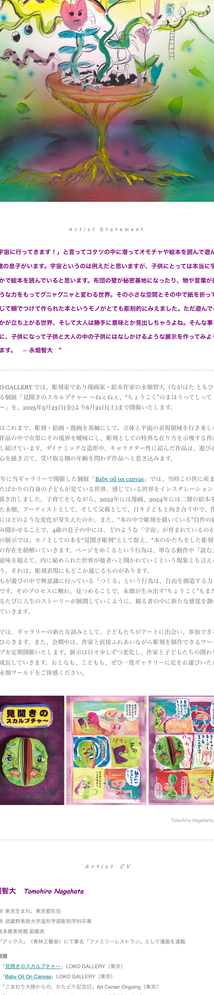
E V E N T

〇オープニングレセプション
2025年5月24日（土）16:00-18:00

〇ワークショップ「気になるお話、水になる影絵」開催！
アーティスト・永畑智大と一緒に影絵体験ワークショップ！
みんなで楽しく、実際作ってみよう。

日程：毎週土曜日（最終週のみ金曜日）5/31, 6/7, 6/14, 6/20
時間：15:00-17:00（受付：16時まで）
参加：予約制
対象：5歳～小学生（12歳）
用意：汚れても良い服装でお越しください。
概要：「アーティスト・永畑智大と一緒に『気になること』をテーマに、絵や文字を紙にかいて本を作ったり、即刻にしてみよう！」というワークショップです。作った作品は会期中に、ギャラリーで展示されます。
＊複数日参加可能。
＊申し込み多数の場合、定員に達し次第、受付を終了させていただくことがございます。
＊本プログラムは、ギャラリーにおける新たな取り組みの一環として企画されたものです。

ワークショップ ご予約はこちら！



A r t i s t S t a t e m e n t

“「宇宙に行ってきます！」と言ってコタツの中に潜ってオモチャや絵本を読んで遊んでる4歳の息子がいます。宇宙というのは例えだと思いますが、子供にとっては本当に宇宙のなかで話本を読んでいると思います。布団の壁が秘密基地になったり、物や言葉が魔法のようなカタチをもってズニャグニャと変わる世界。そのかさな空間とその中で紙を折ってみて頭じて開てつけて作られたキャンバスもズンドとても即刻的にみえました。ただ遊んでるだけ何かが立ち上がる世界、そして大人は勝手に意味とか見出しちゃうよね。そんな集をとントに、子供になって子供と大人の中の子供にとんでもないしかけとかうなる展示を作ってみようと思います。 ＿永畑智大 ”

LOKO GALLERYでは、期刊誌であり視覚誌・絵本作家の永畑智大（ながはた ともひろ）による個展「見開きのスカルプチャー ~ねぇねぇ、ちょうこくってのりまきのようなもの~」を、2025年5月23日(金)より6月21日(土)まで開催いたします。

永畑はこれまで、期刊・絵画・視画を基軸にして、立体と平面の表現領域を行き来しながら、作品の中で次第にその境界を曖昧にし、期刊としての特異な在り方を示唆する作品を制作し続けています。ダイナミックな造形や、キャラクター性に富んだ作品は、遊び心や探究心を掻き立て、受け取る側の年齢を問わず作品へと惹き込みます。

2025年に当ギャラリーで開催した個展「Baby oil on canvas」では、当時、この時に世に産まれ落ちたばかりの自身の子どもが見ていた世界、感じていた世界をインスタレーションにして表出しました。子育てをしながら、2002年には掲載、2004年には一冊の絵本を出版した永畑、アーティストとして、そして父親として、日々子どもと向き合う中で、作家自身にはどのような変化が生まれたのか、また、“本の中で期待を膨らませる”自作の絵本を論み開かせることで、a面の見方のやれは、どのような「学ぶ」が見れているのか。今回の展示では、モノとしてのあるべき「見開き期刊」として捉え、“本のたたもをした期刊”からその存在を紐解いていきます。ページをめくるという行為は、単なる動作や「読む」という意味を超えて、向こ様かられた世界が眼者へと開かれていくという現象とも言えるでしょう。それは、期刊誌自体にもどこか通じるものがあります。
子どもが遊びの中で無意識に行っている「つくる」という行為は、自由を創造する力そのものです。そのプロセスに触れ、見つめることで、水槽が生み出す“もうすこ”もまた、めくるたびに人生のストーリーが展開していくように、観る者の中に新たな感覚を掻かに開いています。

本展では、ギャラリーの新たな試みとして、子どもたちがアートに出会い、参加できる空間をひらます。また、会期中は、作家と直接ふれあうなかに期刊を制作できるワークショップを定期開催いたします。展示は日をかさしで変化し、作家と子どもたちの関わりの中で成長していきます。おとなも、こどもも、ぜひ一度ギャラリーに足を運びたいだき、永畑ワールドをご体感ください。

Tomohiro Nagahata, 2025

A r t i s t C V

永畑智大　*Tomohiro Nagahata*

1983年 東京生まれ。東京都在住
2016年 武蔵野美術大学造形学部前期学科印刷
国立美多摩美術 絵画 卒業
雑誌「アックス」（青林工藝舎）にて掲名「ファミリーレストラン」として漫画を連載

主な個展
2025「**見開きのスカルプチャー**」LOKO GALLERY（東京）
2021「**Baby Oil On Canvas**」LOKO GALLERY（東京）
2020「こまかい天陽からの、かたどり記憶」Art Center Ongoing（東京）
2017「ファミリーレストラン」Art Center Ongoing（東京）…ほか

主なグループ展・出版
2024「京都芸西2024　ヨフェンダイアート」多摩川（御自園～鶴木）・国立美多摩美術館（東京）
2024「アックス夏祭り 知のぼりる乱乱たち」ビリヤンギャラリー（東京）
2023　笠島久美子 × 永畑智大「絵画西広ホズファン シーグアズ～」Tokein Art Center（東京）
2023「知 『アックス』創刊20周年展」ビリヤンギャラリー（東京）
2021「VOCABE2021」上野の森美術館（東京）
2020「**ドローイング展**」LOKO GALLERY（東京）
2019「**国立美多摩世迷～12月のオーロラ～**」LOKO GALLERY（東京）…ほか

受賞歴
2016「アックス」マンガ新人賞特別選考賞

出版
2024　絵本「ペートちゃんとアナコンダ」
2024　絵本「つまうるボウズくもちもちボウズ」
2022　漫画「レーズンうるとゆいます」青林工藝舎

ワークショップ
2025「おみくじをつくろう！～発酵の種を蒔くビックリ玉手箱!!～」（福島）
2024「和みオブジェ～しっぱいやじゃたいはやっぱちがいい。」（東京）
2022「みんなでつくる？このすてどっちも！」（埼玉）

アーティストWEBサイト：tomohironagahata.com
アーティストプロフィール：永畑智大

A r t i s t B o o k s

絵本「ペートちゃんとアナコンダ」ふゑみクーれすとらん / 永畑智大
全36ページ / フルカラー、2024年10月5日初版第1刷発行

大蛇がしずれたら、なかなか戻れないペートちゃんとアナコンダが、よるたび勝を大冒険！絵本ならではな、夢と現実が混ざりあうような物語。そんなかたちたちが愛は自分さんもで、ユーモラスと想像力で包みこんだ、ちょっとふしぎなサイズ感とその物語。

絵本「つまうるボウズくもちもちボウズ」ふゑみクーれすとらん / 永畑智大
全36ページ / フルカラー、2024年8月5日第1刷発行/10月6日第2刷発行

子どもたちがあるあるな「ぞぞっ」と思ったり、ボウズもモヤモヤを手に取れること一他、思案のリズムを楽しみながら、「知ってこと」や「ほれること」の面白さにふれっと出会える、声に出して楽しみたい絵本です。

漫画「レーズンうるとゆいます」ファミリーレストラン（青林工藝舎）
A5判 全240ページ、重量：2025年5月6日発行

「レーズンうるとゆいます」は、2025年5月24日に青林工藝舎から出版されました。永畑は約4年に渡連載「アックス」マガジン誌上連刊回数を空襲、その中、同誌で連載していた作品をまとめたものが単行本で、漫画のコマの比率は自ガ変動するなど、表現と連載を経ることで生独のスタイルで描かれています。2021年に以LOKO GALLERYで開点の個展を開催し、展覧会とその出版を連動して作品を発表いたしました。

本企画へのお問合せは下記のメールアドレスへお気軽にご連絡下さい。
info@lokogallery.com

お問合せ：info@lokogallery.com
LOKO GALLERY
12-6 Uguisudani-cho
Shibuya-ku, Tokyo 150-0032
Japan

営業時間：火-土 11:00-18:00　定休日：日・月・祝